

田村市国民健康保険第2期データヘルス計画中間見直し

Ⅶ 目的・目標の設定

1. 目的（第2期データヘルス計画と変わらず）

田村市では、脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症の医療費が高額で死亡率が高く、要介護の主な原因疾患ともなっています。そのため、それらの発症予防・重症化予防が重要な課題であるといえます。

今回の計画は、その現状を踏まえこれら3疾患の要因である基礎疾患となる高血圧、高血糖、脂質異常及びメタボリックシンドロームを減らすことを目的にします。

2. 目標

(1) 中長期目標

中・長期目標として設定した「入院医療費を抑える」と「早期受診を促す」のための具体的な成果目標として「虚血性心疾患、脳血管疾患及び、糖尿病の患者の減少させること」とします。

目標値の設定にあたって、「虚血性心疾患、脳血管疾患及び、患者数の減少」を年間の増減推移（CAGR）により令和5年度の被保険者に占める割合と患者数の数値を推計し目標とします。ただし、糖尿病については、増加傾向にあることから、平成28年度の割合となる患者数を目標とします。

有病率		H28	H29	H30	R1	R5
被保険者数		10,226	9,435	9,047	8,507	7,264
①虚血性心疾患	人数	380	355	343	309	245
	%	3.72%	3.55%	3.79%	3.63%	3.37%
②脳血管疾患	人数	36	35	41	28	22
	%	0.35%	0.37%	0.45%	0.33%	0.31%
③糖尿病	人数	128	110	119	116	90
	%	1.25%	1.17%	1.32%	1.36%	1.25%

抽出データ：KDB レセプト分析

(2) 短期目標

短期目標として設定した、特定保健指導実施率の増加、LDL-C 140 mg/dℓ以上の割合の減少、習慣的喫煙者の減少は令和5年度目標値が達成され、新たな目標値を設定し、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症の要因である血管変化をもたらす共通のリスクとなる高血圧、高血糖、高脂血症、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の数値を掲げ、患者減少を目指します。

特定健診の受診率が向上のための指標として「特定健診のリピート率の向上」をあげます。その集計方法としては前年度の受診者が今年度も受診していることによりリピートありとし集計し受診者全体に占める割合は82.0%台を目標とします。

短期目標	H28 現状値	R5 当初目標	R1 現状値	評価	R5 新目標	備考	
特定健診受診率の増加	42.7%	47.0%	44.1%	×	47.0%		
特定保健指導実施率の増加	7.5%	25.0%	34.8%	○	40.0%		
特定健診結果	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少	32.7%	30.0% 以下	32.1%	×	30.0% 以下	
	Ⅱ度、Ⅲ度高血圧の減少	2.8%	2.5% 以下	2.4%	△	2.5%	
	HbA1c 6.5%以上 (治療中の場合は 7.0%)の割合の減少	4.9%	4.5% 以下	5.9%	×	4.5% 以下	
	LDL-C 140 mg/dℓ以上 の割合の減少	25.4%	25.0% 以下	21.8%	○	20.0%	LDL-C 160 mg/ dℓの値の変更
	eGFR45未満の割合 減少	2.0%	2.0% 以下	2.4%	×	2.0% 以下	
	習慣的喫煙者の減少	15.7%	15.0% 以下	13.6%	○	13.0%	

特定健診リピート率

短期目標	H28	H29	H30	R1	R5
受診者数	3,477	3,125	3,043	2,424	2,569
内前年度受診者	2,832	2,601	2,475	1,980	2,107
リピート率	81.4%	83.2%	81.3%	81.7%	82.0%

抽出データ：特定健診等データ管理システム

前年度の受診者名簿から照らし合わせ